



地域福祉のネットワークで
支え合い・助け合い

40th
Anniversary



社会福祉法人
志木市社会福祉協議会

法人化40周年記念誌

社会福祉法人志木市社会福祉協議会 法人化40周年記念式典 次第

平成31年2月16日(土)午後1時30分開式
志木市総合福祉センター1階ホール

第1部 表彰式典

開会
式辞
表彰(代表受領)
来賓祝辞
受賞者代表謝辞
閉会

第2部 記念講演

「サザエさん一家は^{しあわせ}幸福みつけの達人ぞろい」

声優／俳優 ^{ますおか ひろし} 増岡 弘 氏

■ 増岡 弘 氏 プロフィール

「サザエさん」のマスオさん役や「それいけ！アンパンマン」のジャムおじさん役でお馴染みの人気声優。

感動の群読公演、小・中学校での読み聞かせ、東京アニメーター学院講師などで活躍。ナチュラリストとしてのTV出演も多数。

また講師として、家庭教育・人権問題・福祉・男女共同参画等、幅広く活動。

■ 職歴・経歴

1936年 埼玉県岩槻市生まれ。青山美術研究所 文化学院で油絵を学ぶ。

1954年 二科展に史上最年少で入選。

当初は舞台美術の仕事をするが、その後、役者に転向。俳協に所属。

映画「ガラスのうさぎ」、テレビ「夏、青春物語」(TBS)などに出演。

1986年 劇団東京ルネッサンスを創立し、代表となる。

また、柳家さん助門下となり、益々家ちゃん助(ますますやちゃんすけ)の名で、年2回「落狂(らっきょう)寄席」を開催する。



目次



P2 ご挨拶

法人化40周年にあたって
社会福祉法人 志木市社会福祉協議会
会長 谷合 弘行



P3 ご祝辞

■志木市長	香川 武文 様	P 3
■志木市議会議長	河野 芳徳 様	P 4
■埼玉県議会議員	鈴木 正人 様	P 5
■衆議院議員	穂坂 泰 様	P 6
■埼玉県社会福祉協議会	会長 上田 清司 様	P 7

P8 表彰・感謝

多年にわたり、本会事業の推進に功労のあった方々の芳名簿(敬称略・順不同)を掲載しております。



P13 40年の活動の歩み

今日まで歩んできた本会の歴史を振り返ります。

P20 組織図・役員等名簿 事業紹介

「社協とわたし」をテーマにメッセージをいただきました。

■社協とは	P 20
■組織図・役員等名簿	P 22
■ボランティア・福祉教育の推進	P 24
■地域福祉活動の支援	P 25
■住民参加による在宅福祉の推進	P 25
■共同募金会の運営	P 26
■総合福祉センター・宗岡第二公民館	P 26
■福祉センター・第二福祉センター	P 27
■訪問介護事業所	P 27
■居宅介護支援事業所	P 28
■相談支援事業所	P 28
■地域包括支援センター(柏の杜、館・幸町)	P 29
■障がい者通所施設	P 30
■地域活動支援センター	P 30
■児童センター	P 31
■宗岡子育て支援センター	P 31
■学童保育クラブ・放課後志木っ子タイム	P 32
■しき社協だよりの発行	P 32



法人化40周年にあたって ごあいさつ

社会福祉法人
志木市社会福祉協議会
会長 谷 合 弘 行



志木市社会福祉協議会は、昭和54年2月に社会福祉法人として認可され、ここに40周年を迎えることができました。

これもひとえに、長年にわたり支えていただきました多くの会員の皆様と、行政をはじめ関係機関・団体、そしてボランティアの方々に、ご支援、ご協力をいただいた賜物と心から感謝申し上げる次第であります。

近年、少子高齢化の波が押し寄せする中で、社会福祉を取り巻く環境は、大きく変化し、多くの課題や問題が顕在化してきております。

中でも地域における生活課題は、人と人との支え合い・助け合いといった繋がりと共助の必要性がますます重要となってきたところでもあります。

最近の日本列島は、地震、台風、豪雨等の自然災害による被害が各地で多く見受けられるようになりました。

被災された方々へ少しでも援助ができればと、マンパワーのボランティアとして活躍される方々が多数見受けられ、福祉活動にも助け合いの行動が顕著に表れている昨今であります。

このような変化する状況にありまして、本会は地域活動を推進する中核的な組織として、地域福祉やボランティア活動をはじめ、高齢者、障がい者、子育て支援など多岐にわたる事業を展開し、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいりました。

今後の地域福祉を推進するうえで、松尾芭蕉が唱えました、「不易流行の精神」に則り、現状を見つめつつも新しい方策を探求しつつ、「地域福祉のネットワークで支え合い・助け合い」をメインテーマに掲げ、人と人、人と地域を繋ぎ、誰でもが住み慣れた場所で、いつまでも自分らしく生き生きとした暮らしを、続けることができるよう、努めてまいりたいと考えております。

今後におきましても、引き続き志木市社会福祉協議会へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人志木市社会福祉協議会 法人化40周年を祝して



志木市長
香川 武 文

志木市社会福祉協議会法人化40周年、誠におめでとうございます。

40年という長きにわたり、「公共性」と「自主性」2つの側面を併せ持つ組織力を活かしていただきながら、一人暮らし高齢者や認知症高齢者に対する交流事業や介護予防活動、さらには子どもたちの見守りや子育て家庭の応援など、多様化する市民生活の課題解決に向けてご尽力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

また平成30年度、市役所1階への「志木市後見ネットワークセンター」開設にあたりましては、旧センター事業の経験を活かされ、谷合弘行会長を中心としながら、多大なるご協力とご支援を賜り、司法と民間、行政との有機的かつ、先進的な連携が実現できましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

現在、志木市では、「地域包括ケアシステム」の強化をはじめ、グループホームや短期入所などの障がいのある方への施設や制度の整備、さらには、児童が放課後を安全・安心に過ごせる「放課後志木っ子タイム」の導入など、誰もが安心して生きがい・やりがい・楽しさを感じながら暮らすことができる環境づくりを構築しております。

これらの施策を推進し、さらに発展させていくためには、貴会との強固な連携は不可欠であるとともに、本市が目指す「市民力が結集した夢のあるまちづくりの実現」に向けましても、貴会の果たされる将来を見据えた役割に、市民の寄せる期待も大きいものと認識しております。今後とも地域に根差した活動で、さらなる地域福祉の推進に努めていただきますことをご期待申し上げます。

40周年を新たな出発点に、志木市社会福祉協議会の益々のご発展を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

法人化40周年記念誌 発行にあたって



志木市議会議長
河野 芳 徳

志木市社会福祉協議会がめでたく法人化40周年を迎えられ、その輝かしい実績や歴史をまとめた記念誌が発行されますことを、心よりお喜びを申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和54年の社会福祉法人の認可を受ける以前より、募金運動をはじめ、相談事業や貸付事業など、さまざまな地域福祉活動を長きにわたり実践されており、近年では、介護保険事業、地域包括支援センター、学童保育クラブなどの事業を広く展開され、市民の皆さまの大きな信頼を得ているものと認識しております。

これもひとえに、歴代の役員並びに関係者の皆さまの熱意と努力の賜物であり、市議会を代表し、深い敬意を表するとともに厚く御礼を申し上げます。

近年は、少子高齢化が急速に進み、核家族や単身世帯の増加などにより地域のつながりも希薄となるなど、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化し、市民のニーズが多様化しております。

このような状況の中、貴協議会には、行政と市民のパイプ役として、市民の皆さまの福祉活動や仲間づくりとなる事業の実施と活動場所の提供にくわえ、福祉、保健、医療、教育などの関係機関とのさらなる連携、市民のニーズに合わせた柔軟な事業の展開、信頼の厚いサービスのコーディネートなど、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現及び地域コミュニティの構築に、引き続きご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、この法人化40周年を契機として、志木市社会福祉協議会がいらっしゃるご発展を遂げられますとともに、谷谷会長をはじめ、関係者の皆さま並びに会員の皆さまのご健勝とご多幸、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

法人化40周年記念を迎えて



埼玉県議会議員

鈴木 正 人

社会福祉法人志木市社会福祉協議会の法人化40周年誠におめでとうございます。

住民一人一人の福祉ニーズに対応し、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」のためにと、非営利という立場で40年間もの長きに渡りご貢献された事に心より感謝申し上げます。

介護保険制度や障害者自立支援制度、制度外のサービスに関する相談をはじめ、さまざまな総合福祉相談をはじめ、介護予防ケアプランを作りたい、作ってほしい、要介護認定の申請について、身体の機能への不安、今の健康を維持したいなどの相談を受ける地域包括支援センター。

さらには、市民活動支援、訪問介護事業、宗岡子育て支援センター、学童保育クラブなどなど、多岐にわたり住民福祉のためにご尽力されている社会福祉法人の皆様。

いよいよ包括ケアシステムの時代が到来し、誰もが住み慣れた地域で、安心して、介護サービスをはじめ、高齢者のニーズや状態の変化に応じて、適切に、切れ目なくサービスが提供されるように整備しなければなりません。

地域包括ケアシステムのめざす方向性は、社協がめざす「住み慣れた地域で安心して暮らすことができる公私協働の福祉のまちづくり」と一致しています。また、地域包括ケアシステムの中核となる「地域ケア会議」に求められている機能は、「個別ケースへの支援機能」と「福祉のまちづくりを推進する機能」をあわせもつ、社協の特性そのものでもあります。

これからも地域福祉力の再構築の上では、40周年を迎えた社会福祉協議会の皆様方には今後益々ご活躍いただかなければなりません。

志木市社会福祉協議会の益々の発展と皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

法人化40周年に寄せて

衆議院議員
穂坂 泰



この度は、社会福祉法人志木市社会福祉協議会の法人化40周年、誠におめでとうございます。

地域福祉の推進を図ることを目的とした慈善的な民間団体を起源とする社会福祉協議会は、現在は社会福祉法に基づき設置されることとなっておりますが、地域の人々が安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指すうえで、地域に欠くことのできない民間組織であります。

貴協議会は昭和53年に定款が可決され、以来40年の長きにわたり、地域に潜在するさまざまな福祉関係の諸課題に対応するため、市行政や自治会、民生・児童委員の皆様、社会福祉関係施設、NPO団体や多くのボランティアの皆様などと連携を図りながら、「志木市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化」に係る事業にご尽力されてこられました。

その活動は、生活支援などの地域福祉活動、ボランティア育成と活動支援、福祉教育・啓発の推進、生活福祉資金貸付事業、さまざまな相談支援事業など、枚挙に暇がありません。

近年は少子高齢化社会に向かうという社会情勢の中で、家族や地域社会の構図にも大きな変化が見られます。一般的な傾向としては、住民と地域社会のつながりが薄くなり、自治会活動なども相対的に小さくなっていくことが予想されます。地域社会に存在した、助け合いや支え合いの機能が低下していくわけですが、そうした中において、高齢者や障がい者の生活支援など、貴協議会の果たすべき役割の重要性は、相対的に増大し、大きな期待が寄せられることとなります。引き続き、市民の幸福、生きがいを実感できる市民の生活の実現のため、積極的な協議会活動を展開されますことを心よりお願い申し上げます。

結びに改めて、法人化40周年のお祝いを申し上げますとともに、関係各位のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げ、わたくしからのご挨拶とさせていただきます。

志木市社会福祉協議会 法人化40周年を祝して

社会福祉法人
埼玉県社会福祉協議会
会長 上 田 清 司



このたび、志木市社会福祉協議会が法人化40周年という記念すべき節目の年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴会は、長年にわたり地域福祉の推進役として地域住民や行政、関係機関と協働し、「市民の誰もが安心して、自分らしく、いきいきと、自立した生活ができる地域社会の実現」に向け大きく貢献してこられました。谷合弘行会長をはじめ歴代の役員、関係の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

近年、少子高齢化や核家族化の進展などにより地域における福祉課題が複雑化する中、貴会は、相談支援事業をはじめ、高齢者や障がい者、子育て家庭に対する福祉サービスの提供など、さまざまな事業を積極的に実施しておられます。

とりわけ、高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域を実現する法人後見事業については、早くから事業に着手し他の社協の模範となっています。

さらに、新たな取組として、夏休み期間中に「こどもランチルーム」を開設し、子どもの孤食防止と福祉センターを利用する高齢者との交流を図る事業を始めたと同っています。

このような社会の変化をいち早く捉え、地域に根ざした活動が市民の皆様の安心と貴会への信頼につながっているものと、同じ社協の仲間として大変心強く思います。

埼玉県社会福祉協議会といたしましても、「つながりをチカラに」をキャッチフレーズとして、誰もが生きる喜びを感じられる社会の実現に引き続き取り組んでまいりますので、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、志木市社会福祉協議会の限りない御発展と、関係各位のますますの御健勝、御活躍を祈念いたしまして私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

表彰状受賞者

特別功労表彰

- ◆ 社会福祉協議会会長または代表者として長きにわたり在職し、本協議会の発展と地域福祉の推進に貢献をされ、その功績が顕著な者

須貝 伸一

矢部 勝雄

特別表彰

- ◆ 社会福祉を深く認識した篤志家として、高額な寄附(1億3,450万円)を行い、地域福祉の推進に貢献をされ、その功績が顕著な者

(故)横山 武治

永年継続役員

- ◆ 社会福祉協議会の役員として10年以上在職し、本協議会の発展と地域福祉の推進に貢献をされ、その功績が顕著な者

大木 勝臣

大熊 克範

木下 正雄

金員寄附

- ◆ 社会福祉活動を深く認識し、継続して多額の金員寄附を行い、地域福祉の推進に貢献をされ、その功績が顕著なもの

志木市商工会チャリティゴルフ大会実行委員会

白川恵美ネットワークイデューズ学院

(敬称略・順不同)

社会福祉事業特別協助団体

◆ 社会福祉活動を深く認識し、多年にわたり社会福祉協議会会員会費及び募金活動に貢献をされ、その功績が顕著な団体

市場町内会

上町町内会

双葉町町内会

大原町内会

柏町内会

大塚町内会

愛宕町町内会

久保町内会

福住町会

柳瀬川町内会

上木町内会

宗岡四区町内会

宗岡六区町内会

志木ハイデンス町内会

南の森壱番街町内会

東の森壱番街町会

中央の森壱番街町内会

中央の森参番街町内会

シーズクラブ町内会

寿町町内会

仲町町内会

東町町内会

中野町内会

城町内会

中道町内会

西町町内会

城ヶ丘町内会

館町内会

羽根倉町内会

宗岡三区町内会

宗岡五区町内会

ニューハイツ町内会

グリーンパーク志木町内会

南の森式番街町内会

東の森式番街町会

中央の森式番街町内会

志木ニュータウンガーデンプラザ町内会

県営志木柳瀬川団地

(敬称略・順不同)

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

組織図・役員等名簿
事業紹介

感謝状受賞者

金員寄附

- ◆ 社会福祉活動を深く認識し、多年にわたり金員寄附を行い、地域福祉の推進に貢献しているもの

青木民舞会

建設埼玉志木支部

埼玉司法書士会志木支部

坂本企画 代表 坂本節子

志木おやこ劇場

志木教会附属泉幼稚園

志木市第二福祉センター利用者

志木柳瀬川ロータリークラブ

志木料理飲食店組合

中溝 茂

増渕 日出子

朝霞地区遊技業防犯協力会

小林民舞会

酒巻 敬二

さくらんぼ

志木菊花会

志木市ゴルフ連盟

志木市福祉センター利用者

志木ライオンズクラブ

ダイキハウス(株)社員一同

花見の会

立正佼成会朝霞教会

(敬称略・順不同)

社会貢献協力団体

- ◆ 社会福祉活動を深く認識し、多年にわたり社会福祉協議会特別会員として、地域福祉の推進に貢献している団体

あさか野農業協同組合	(有)イケ
(株)市之瀬工務店	学校法人市之瀬学園おのおのみち幼稚園
大村商事(株)	木元工業(株)
協同建設(株)	幸福の森幼稚園
(株)ジェイ・エフ・ジー	志木市商工会
志木なかもり幼稚園	志木ロータリークラブ
(株)新日警備保障	関口工業(株)
センチュリー21登喜和志木店	(株)ソフ. エンジニアリング
大仙寺	東京信用金庫志木支店
(有)ナカガワ	(株)ナバケン
(有)西武エースプランニング	(株)抜井商事
(株)ハードコート	(有)北斗電設
(株)丸喜	(株)三上リアルエステート
(株)武蔵野銀行志木支店	(株)ムトー電気産業
明央産業(株)	

共同募金運動協力団体

- ◆ 社会福祉活動を深く認識し、多年にわたり共同募金運動に積極的に協力され、地域福祉の推進に貢献している団体

学校法人細田学園細田学園高等学校	志木市老人クラブ連合会
志木市連合婦人会	日本ボーイスカウト志木第一団
立正佼成会朝霞教会	

(敬称略・順不同)

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

組織図・役員等名簿
事業紹介

福祉活動協力者

- ◆ 社会福祉活動を深く認識し、多年にわたり福祉事業に携わる各種委員、ボランティア、協力員等として活動し、地域福祉の推進に貢献しているもの

伊得 政子

石田 幸平

NPO法人エコシティ志木

小澤 静枝

かざぐるま日本語教室

上木町寿会

菊池 時男

清原 秀義

斉藤 すえ

幸セ会

志木音訳ボランティアもくせいの会

志木市食生活改善推進員協議会

志木市話し相手ボランティア「語楽の会」

志木手話サークル

志木柳瀬川ロータリークラブ

滝口 静子

田中 玲子

とちの樹会

ばあーばとじいーじのとしよりぶくろ

馬場 幸子

間宮 加代子

三上 保教

村田 洋子

よみきかせボランティア「えほんであそぼ」

五十嵐 鈴江

岩本 肇子

大貫司法書士事務所

おんどりクラブ

兼子 信子

菅野 トキ

北澤 恭子

埼玉県電気工事工業組合志木支部

さくらんぼ

志木おもちゃクリニック

志木ギターサークル

志木市聴覚障害者の会

志木市民生委員・児童委員協議会

志木点訳サークル

大根の会

たけのこ文庫

田村 敏子

人形劇団「あかおに」

橋本 明

細川 真理

三上 公子

宮原 正幸

森田 伸子

(敬称略・順不同)

40th Anniversary

～40年の活動の歩み～

今日まで歩んできた本会の歴史を振り返ります。

～事業紹介～

「社協とわたし」をテーマにメッセージをいただきました。



平成9年
たんぽぽサービス協力員、ヘルパー介護実習



平成28年 台北大学法律学院
成年後見制度についての視察来訪



平成22年 総合福祉センターまつり

40年のあゆみ

1951年~1984年

昭和26年(1951年)

9月 「志木町社会福祉協議会」
(任意団体)として結成

昭和30年(1955年)

5月 志木町と宗岡村が合併し、足立町となる
7月 「足立町社会福祉協議会」へ改称

昭和45年(1970年)

10月 志木市市制施行に伴い、
「志木市社会福祉協議会」へ改称

昭和54年(1979年)

2月 社会福祉法人志木市社会福祉協議会

設立認可

3月 社会福祉法人としての登記
4月 (法人としての)事業開始
6月 「社協だより」第1号発行



【当時の事業】

- 共同募金(赤い羽根・歳末)
- 資金貸付
- 結婚相談
- 心配ごと相談
- 一人ぐらし老人交流会
- 無縁仏供養
- 戦没者遺族の援護
- 里親運動への参加 など



共同募金の様子



一人ぐらし老人交流会の様子

昭和55年(1980年)

4月 志木市福祉センター受託



4月 善意銀行(社会奉仕活動センター)発足
(現在の「志木市ボランティア・市民活動センター」)



昭和56年(1981年)

10月 「手話講座」を開催(市共催)

昭和59年(1984年)

3月 法人化5周年記念福祉大会



40年のあゆみ

1985年~1992年

昭和61年(1986年)

- 2月 一人ぐらし老人電話訪問事業発足
- 7月 救急福祉ヘルパー制度発足
(現在の「たんぽぽ生活応援隊」)
- 8月 高校生ワークキャンプ開催
- 10月 ふれあい広場開催



昭和62年(1987年)

- 2月 「志木市における社会福祉の長期的活動計画」答申
- 4月 「志木市ボランティア活動センター」に改称。(旧社会奉仕活動センター)

昭和63年(1988年)

- 9月 法人化**10周年**記念福祉大会



平成2年(1990年)

- 4月 救急福祉ヘルパー制度改め、住民参加型在宅福祉サービス(愛称:たんぽぽサービス)開始



志木ロータリークラブ様からエプロンを寄贈していただきました。

- 10月 「志木市社会福祉協議会強化発展計画」答申

平成4年(1992年)

- 3月 車いす専用車貸出事業開始



志木ライオンズクラブ様から車いすを寄贈していただきました。

- 10月 「福祉学園」開始



ご挨拶

ご祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

事業紹介
組織図・役員等名簿

40年のあゆみ

1993年~2000年

平成5年(1993年)

4月 ホームヘルプサービス事業一部受託

平成6年(1994年)

2月 法人化15周年記念福祉大会



志木中学校吹奏楽部による演奏

3月・6月 「社協だより」第50号・特集号発行



3月 「地域福祉活動計画」答申

平成7年(1995年)

3月 ホームヘルパー養成研修3級課程開講



ホームヘルパー養成研修

平成9年(1997年)

3月 社協会長との懇談会開催



ボランティア団体・老人クラブ・たんぼぼサービス協力員等100人以上の参加がありました。

平成10年(1998年)

4月 ふれあいのまちづくり事業開始

10月 ヘルパーステーション開設

平成11年(1999年)

10月 ホームヘルパー養成研修2級課程開講

平成12年(2000年)

4月 介護保険制度スタートに伴い、
「指定居宅介護支援事業所」、
「指定訪問介護事業所」設置



40年のあゆみ

2001年~2007年

平成13年(2001年)

- 4月 福祉サービス利用援助事業開始
- 12月 「障害者の日記念のつどい」実施



平成14年(2002年)



学習指導要領の改訂に伴い、「総合的な学習の時間」が始まり、福祉体験学習が活性化していきました。

平成15年(2003年)

- 3月 各種専門相談を「福祉総合相談」に統合
- 3月 支援費制度スタートに伴い、「障害者居宅介護事業所(ホームヘルプサービス)設置」
- 8月 志木市第二福祉センター受託
- 9月 志木市在宅介護支援センター 柏の杜受託

平成16年(2004年)

- 5月 社協だより「ふれあい」第100号発行



平成17年(2005年)

- 3月 「第1期志木市地域福祉計画(地域福祉活動計画)」策定

平成18年(2006年)

- 4月 志木市地域包括支援センター柏の杜受託
- 志木市福祉センター指定管理者開始
- 志木市第二福祉センター指定管理者開始
- 10月 「第1次地域福祉活動計画」策定



福祉センター



第二福祉センター

平成19年(2007年)

- 1月 地域交流支援事業開始

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

事業紹介
組織図・役員等名簿

40年のあゆみ

2008年~2013年

平成20年(2008年)

2月 ホームページ開設

4月

・多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型)開設

・指定相談支援事業所開設

・地域活動支援センター開設

・志木市総合福祉センター指定管理者開始

・宗岡第二公民館指定管理者開始

・志木市児童センター指定管理者開始

・宗岡子育て支援センター指定管理者開始

10月 「第2次地域福祉活動計画」策定

平成21年(2009年)

3月 総合福祉センターまつり開催

4月 多機能型事業所(就労継続支援A型)開設

4月 法人化**30周年**記念福祉大会



講演する北野大氏

6月 法人後見事業検討委員会設置

平成22年(2010年)

7月 障がい者等相談支援事業受託

学童保育クラブ事業受託

(宗岡第三・宗岡第四学童保育クラブ)

9月 法人後見受任開始

平成23年(2011年)

4月 「第3次地域福祉活動計画」策定

学童保育クラブ事業受託

(宗岡・宗岡第二学童保育クラブ)

平成24年(2012年)

10月 志木市成年後見支援センター受託

平成25年(2013年)

4月 カフェ・ランチルーム宗四小受託



県立志木高校(写真上)、市立宗岡中学校(写真下)の美術部のみなさんが児童センターのテラスにたくさんの絵を描いてくださいました。



志木柳瀬川ロータリークラブ様から桜の木を寄贈していただきました。

10月 志木市地域包括支援センター館・幸町受託

40年のあゆみ

2014年~2019年

平成26年(2014年)

9~10月

志木市総合福祉センター
外部大規模改修工事

平成27年(2015年)

3月 「第4次地域福祉活動計画」策定

8月 災害ボランティアセンター

立ち上げ訓練を実施



10月 多機能型事業所の見直し
(就労継続支援A型をB型に統合)

平成28年(2016年)

3月 志木市生活支援体制整備事業受託

7月 こどもランチルーム事業開始

平成29年(2017年)

3月 カフェ・ランチルーム宗四小受託終了

7月 志木市総合福祉センター東館での
事業開始

平成30年(2018年)

3月 宗岡第四学童保育クラブが
「放課後志木っ子タイムむねよん」
に移行

4月 志木市成年後見支援センター受託終了
収益事業(自動販売機設置事業)終了
「たんぼぼサービス事業」改め「たん
ぼぼ生活応援隊」に改称

5月 志木市総合福祉センター内部大規模
改修工事終了及び志木市福祉セン
ターの移転

12月 (故)横山武治様から1億3,450万円
遺贈金をご寄附いただきました。



▲右から めい 池田様 いとこ 三村様 志木社協 谷合会長

平成31年(2019年)

2月16日

法人化40周年記念式典

(第1部 表彰式典 第2部 記念講演)

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

事業紹介
組織図・役員等名簿

社協とは 「地域福祉のネットワーク で支え合い・助け合い」

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法に基づき「地域福祉の推進」委員、ボランティア、社会福祉法人等の社会福祉関係者の参加、協働できる「福祉のまちづくり」の実現をめざした、さまざまな活動を行っ

ています。を目的とした営利を目的としない民間組織です。町内会、民生・児童力のもと、地域の人達が住み慣れたまちで安心して生活することの

地域福祉の推進のための4つの財源

会員会費

社会福祉協議会（社協）では、地域福祉活動へのご理解とご支援をいただいている会員制度を実施しています。会員会費は、町内会等の活動のための活動費や事業費、また、たんぽぽ生活応援隊をはじめとする在宅福祉サービスや福祉教育事業などに活用されています。

【会費の種類】

普通会員／一世帯あたり	500円
賛助会員／一件あたり	1,000円以上
特別会員／一件あたり	5,000円以上

寄附金

個人・企業・各種団体からいただいた寄附金や寄附物品は、寄附者の意向を尊重し、地域福祉の推進のための事業に要する費用や施設管理のための備品等に活用しています。

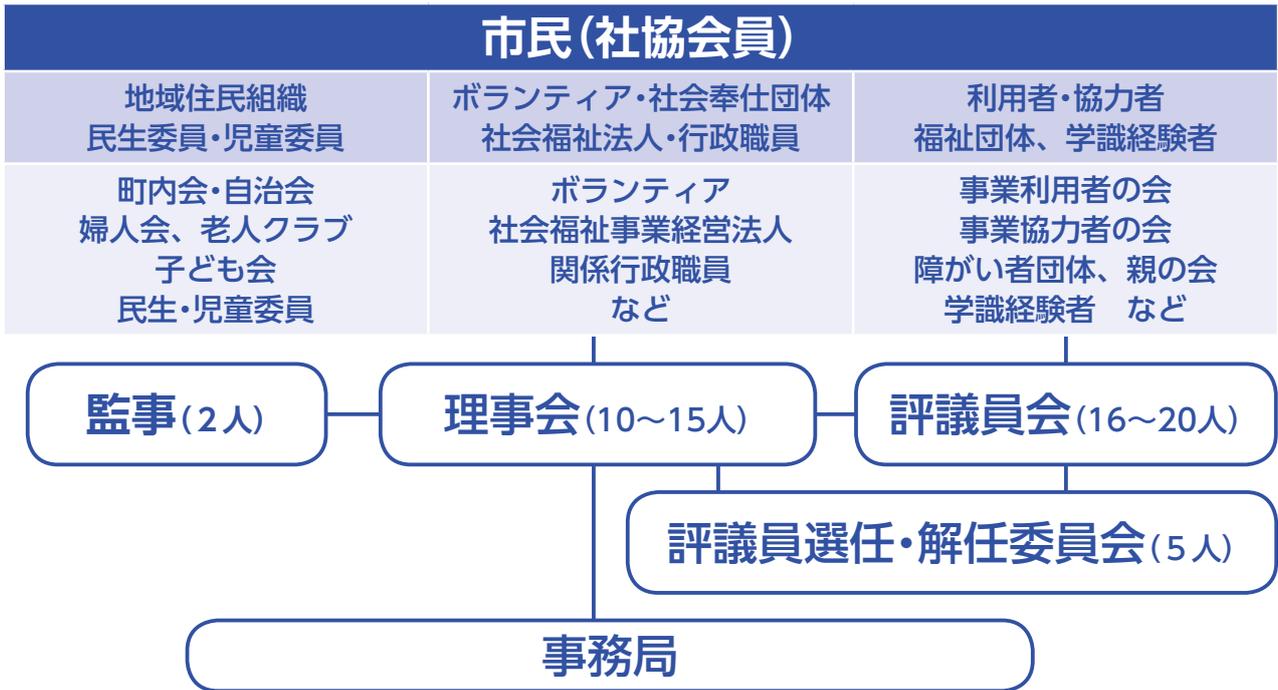
共同募金 配分金

1947年（昭和22年）から全国的に展開されている共同募金運動の配分金です。赤い羽根募金は、50%が市町村社会福祉協議会の地域支援事業に配分され、残りは県域全体に配分されます。

また、地域歳末助け合い募金は、全額市町村社会福祉協議会に配分され、本会では、介護用品の購入に要する自己負担の一部補助と子育て応援事業として「2018ゆるキャラグランプリ」1位のカパルの子ども用リュック及び子育て応援本を差し上げています。

委託料 指定管理料

社会福祉協議会は社会性・公共性が高い活動を行っている団体であるため、志木市から委託料及び指定管理料、同じく埼玉県社会福祉協議会からも委託料を財源とし、社会福祉協議会のもつ民間性を生かしたサービスを実施しています。



役員名簿

(以下敬称略・順不同)

役職名	氏名	推薦団体等
会長	谷合 弘行	識見を有する者
副会長	竹前 栄二	志木市町内会連合会
	清水 良介	志木市商工会
	吉田 豊子	志木市民生委員・児童委員協議会
常務理事	中村 勝義	識見を有する者
理事	斉藤 奈都子	志木市連合婦人会
	川原 照男	志木市民生委員・児童委員協議会
	安部 卯内	志木市老人クラブ連合会
	宮原 正幸	志木市子ども会育成連絡協議会
	前野 房子	志木市食生活改善推進員協議会
	寺内 弘子	(社福)ルストホフ志木
	塩盛 聡子	志木市(志木市福祉事務所)
監事	中西 喜代子	識見を有する者
	酒卷 敬二	税理士
	池ノ内 茂生	日本ボーイスカウト志木第一団

任期:平成31年6月の定時評議員会の終結の時まで

評議員選任・解任委員会委員名簿

氏名	所属団体
池ノ内 茂生	志木市社会福祉協議会監事
谷岡 正吉	志木市町内会連合会
金敷 禎子	志木市民生委員・児童委員協議会
高木 秀治	識見を有する者
矢田 泰敏	志木市社会福祉協議会事務局長

任期:平成33年6月の定時評議員会の終結の時まで

評議員名簿

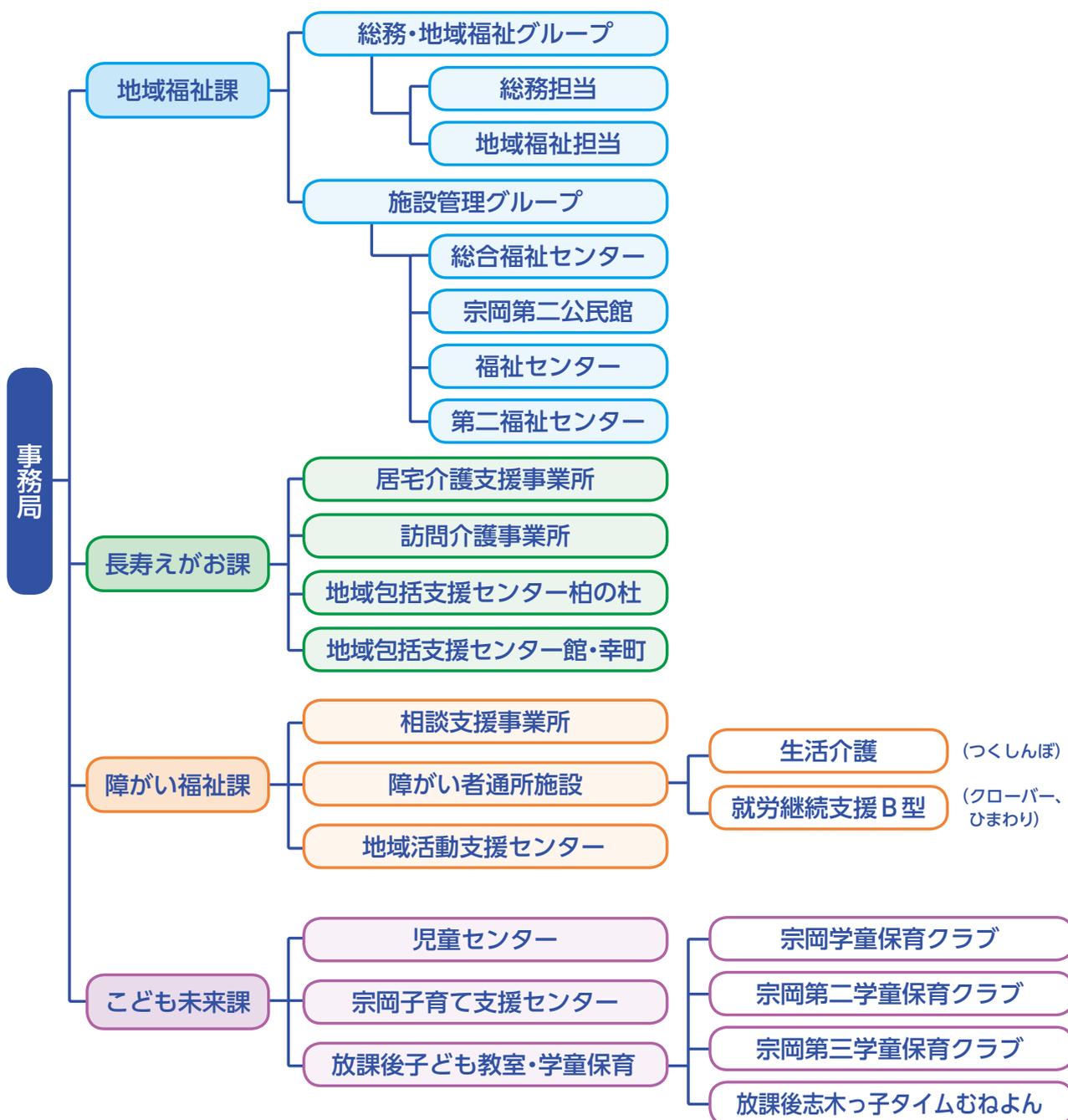
氏名	所属団体	氏名	所属団体
三上 榮一	寿町町内会	山浦 陽子	志木音訳ボランティアもくせいの会
高野 房夫	愛宕町町内会	小西 憲子	NPO法人志木子育てネットワークひろがる輪
吉田 栄作	城ヶ丘町内会	林 武志	志木ライオンズクラブ
川崎 和夫	中央の森参番街町内会	田畑 康治	社会福祉法人朝霞地区福祉会
野島 悦子	志木市連合婦人会	近藤 政雄	志木市健康福祉部長寿応援課
前田 喜春	志木市民生委員・児童委員協議会	中村 修	志木市健康福祉部子ども家庭課
市ノ瀬 征雄		松本 馨	志木市総合福祉センター利用者の会
新井 つね子		中川 健司	志木市身体障害者福祉会
日東 明子	志木市赤十字奉仕団	小澤 静枝	志木市心身障害児者を守る会

任期:平成33年6月の定時評議員会の終結の時まで

社会福祉法人志木市社会福祉協議会 歴代会長

氏名	会長就任期間
小山正敏	昭和54年4月1日～昭和60年9月15日
古市清一	昭和60年9月16日～昭和63年3月31日
進藤倭之輔	昭和63年4月1日～平成2年3月31日
高野平治郎	平成2年4月1日～平成6年3月31日
田村和彦	平成6年4月1日～平成17年3月31日
須貝伸一	平成17年4月1日～平成25年2月28日
矢部勝雄	平成25年3月1日～同年3月26日(会長職務代理)
谷合弘行	平成25年3月27日～

事務局組織図



挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

事業紹介
組織図・役員等名簿

ボランティア・福祉教育の推進

ボランティアに関する相談やボランティア団体の育成・支援をはじめ、ボランティアの養成講座（手話・点字・朗読・傾聴等）を行っています。

また、福祉・障がい理解を目的とした講習会や小中学校で福祉体験学習を行っています。



▲手話講習会



▲小学校における車いす体験



▲ボランティア体験



社会福祉協議会には、福祉体験を中心に大変お世話になっております。企画から当日の運営まで、生徒たちに丁寧に福祉のことを教えていただける環境を整える架け橋となり、お陰様で充実した体験学習が行えます。

また、職場体験も快く引き受けてくださり、生徒に福祉のことを教えてくださるなど、感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともご指導、ご協力をいただければと願っています。

市立宗岡第二中学校 教員 西連寺 英範



7年前に知人からの誘いがきっかけで、社会福祉協議会が行う小学校の車いす体験にボランティアとして参加しました。

専門的な知識や経験はありませんでしたが、それ以来、志木市がより住みやすい街になればと思いアイマスク体験にも参加し、先輩のボランティアから色々教わりながら、また生徒からは元気をもらいながら活動を続けています。

車いす体験・アイマスク体験ボランティア
久保田 京子

地域福祉活動の支援

志木市の地域福祉計画と連携して地域福祉活動計画を策定し、町内会・障がい者団体・ボランティア団体の地域福祉活動に対する助成や小地域サロンの設立・運営支援等を行っています。



▲市内サロン活動



社会福祉協議会の小地域サロン支援を受け、宗岡地区で体操サロン「ひまわり体操クラブ」を実施しております。

毎月2回、お揃いのTシャツで元気に体操をし、体操後にはおしゃべりしながらお茶のみをしています。気持ちが前向きになり、みんなのいきがいにつながっています。活動を通して輪が広がり、勉強会や、福祉施設のボランティアも始めました。

この活動が末永く続きますよう、一層のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

市内サロン団体 ひまわり体操クラブ



町内会活動の参加をきっかけに住民同士のつながりづくりができるよう、社会福祉協議会の助成金を活用して様々なイベントを開催しています。毎年開催している芋煮会は、年配の方がいやというほど食べた記憶のある「すいとん」を、子どもたちと一緒に作って食べるなど、昔ながらの知恵や経験を子どもたちの生活体験に活きてほしいと思い実施しています。

今後も町内会活動を通して協力し合える関係づくりを大切にしていきたいと思っております。

グリーンパーク志木町内会



▲夏休み子どもランチルーム

住民参加による在宅福祉の推進

地域住民の支え合いにより家事援助を行うたんぼぼ生活応援隊、子育て応援事業、要介護者・障がい者等に対する介護用品購入支援事業、車いすや車いすのまま乗り降りできる車いす専用車の貸出等を行っています。



▲制度では対応できない課題をたんぼぼ生活応援隊は住民同士の支え合いで解決します。



40年前は車いす利用者が気軽に外出するなんて考えられない時代でしたが、私の家族は真実を連れ、できるだけ出かけるようにしていました。年をとるにつれて徐々に車いすを押しながら歩き回るのが大変になったこともあり、外出機会を減らさないために社会福祉協議会から車いす専用車をお借りし、今でも色々な所に出かけることができています。

お父さん（主人）が数年前に亡くなり、代わりに運転していただいているボランティアの皆さんにはとても感謝しています。

移送サービス利用者 高橋 富子・真実（娘）



平成20年10月から「たんぼぼ生活応援隊」の協力員として窓ふきや草むしりなど地域の人のちょっとした困りごとを自分のできる範囲でお手伝いする活動を行っています。何よりも嬉しいのは、活動先で心の底から、感謝されることです。

この活動がきっかけで、山登り好きの人と巡り合い趣味が増えましたことは望外の幸せです。

これからも、地域の活動や趣味を元気で楽しく続けたいと思っています。

たんぼぼ生活応援隊協力員 佐藤 信一



▲移送サービスボランティアの皆さん

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

組織図・役員等名簿

事業紹介

共同募金会の運営

県内の地域活動を支援する「赤い羽根共同募金」、市内の支援が必要な人を支援する「地域歳末たすけあい募金」のほか、大規模災害時には、被災者に直接配分される「災害義援金」の3つの募金活動を行っています。



▲毎年10月の街頭募金では、地域の関係団体、市内のゆるキャラ、本会役員にもご協力していただき実施しています。



しっきーずは、柳瀬川駅前での赤い羽根共同募金（街頭募金）運動に、毎年参加させていただいています。

平成30年も、小学生から80代まで多世代のメンバーで、街の皆さんに呼び掛けました。小学生は大きな声で呼び掛けお礼を言う経験ができ、大人は小学生の声に元気をもらえる、有意義で楽しい1時間でした。

共同募金の配分金で、柏町の「まちのえんがわ」しっきーずステーションを運営できています。

感謝の気持ちを忘れずにこれからも活動していきたいと思っています。

NPO法人クラブしっきーず

総合福祉センター・宗岡第二公民館

総合福祉センターは、趣味や軽スポーツ、音楽活動などにも利用できる「地域福祉活動の拠点」として、宗岡第二公民館は、住民の教養の向上、健康の増進、社会福祉の増進を図る「地域の生涯学習の拠点」として誰もが気軽に利用できるように会議室や図書室などの施設管理、様々な事業を実施しています。



▲子どもから高齢者まで幅広い世代に利用していただけるよう運営をしています。



▲よみきかせ事業



社会福祉協議会が40周年を迎えました。私たち住民は地域社会と十分な係わりを持ちつつ、日々健康に楽しく過ごすことを工夫しましょう。

それには総合福祉センターを十二分に活用することです。一日の中でニコリとすることがあると自己免疫力が最大にアップし健康でいられるそうです。

さあ皆さん、センターに来てニコリと会いましょう。

総合福祉センター利用者の会
会長 松本 馨



宗岡第二公民館事業の「寿大学」に参加し、仲間に囲まれ楽しく、充実した時間を過ごしています。他にも興味のある公民館講座を受講しています。明るく充実した図書室も、私のお気に入りの場所です。

様々な施設を備えた「総合福祉センター」は毎日の生活に欠かせない大切な場所となっています。

施設利用者 梅澤 トミ子

福祉センター・第二福祉センター

65歳以上の高齢者が健康で明るい生活が送れるよう、高齢者福祉推進の拠点として教室事業や介護予防事業等を実施しています。また、福祉センターは志木市老人クラブ連合会の事務局として、高齢者の活動を支援しています。



▲総合福祉センターに移転した福祉センター（高齢者談話室）



▲高齢者の通いの場としてさまざまな事業も実施しています。



健康体操を担当して約20年。この間に転倒防止（ころばん塾）と3B体操も加わり、皆さんと運動する機会が増えました。誰でも簡単に楽しくできて、体力の維持、増進になるよう努めております。熱心な大勢の方々の参加を得て、笑い声に包まれて幸せな気分のこの頃です。センターの方々にも温かく気配りをいただき感謝で一杯です。

これからも皆さんと健康寿命の延伸に微力ながら関わっていけたら嬉しいと思っています。

3B体操指導士／健康運動実践指導者
岩下 真利子



平成21年から「ころばん塾」の講師を務めさせていただいております。人生の大先輩である皆さんとの出会いに感謝しつつ、元気に体を動かし、声を出し、笑い合っ……。

これからも体操の楽しさと気持ちよさを味わっていただけますように。美しい笑顔でお過ごしいただけますように。健康長寿を目指して、共に楽しい時間を過ごしてまいりたいと思っています。

介護予防運動指導員／看護師
松下 三代子

訪問介護事業所

住み慣れた街で安心して暮らすことができるよう、365日、介護を必要としている人の在宅生活を支援しています。

サービス提供責任者5人、登録ヘルパー43人ほか総勢50人の訪問介護事業所です。

元気が一番！ えがおが一番！ で日々支援・介護を行っています。



▲利用者さんと服薬の確認中。
ヘルパー：「今日は服薬しましたか？」
利用者：「はい。飲みました。」



▲登録ヘルパーも事業所へ月2回以上来所し、サービス提供責任者と情報交換や連携を図っています。



ヘルパーさんに訪問してもらうようになってから20年のお付き合いになります。いつも良くいただき、ありがたく思っています。

地域活動支援センターでのパソコン教室も楽しく利用させてもらっています。

これからも引き続きお世話になります。

志木市社会福祉協議会が法人化して40周年とのこと、今後もより一層のご活躍を期待しております。

訪問介護事業利用者 寺橋 義雄

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

事業紹介
組織図・役員等名簿

居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所は、介護保険法が施行された平成12年4月から事業を開始しました。自宅で介護を受けることを希望される人に、その人らしい生活ができるようサービスや医療等の関係機関との相談・調整役として日々業務を行っております。



▲地域資源とのネットワークを構築し、サービス利用時における選択の幅を広げることで、利用者の細やかな要望に応える計画を作成します。

▼10年前から、訪問看護や通所介護などの介護保険サービスを利用されています。奥様の献身的な介護、そして訪問診療の先生のおかげもあり、穏やかにご自宅で過ごされています。



▲ご縁があり、支援を開始してから約2年。とても積極的に日々機能訓練を行い、最初は自信がなかった歩行も安定してきました。さらに元気になって、介護保険サービス卒業を目標に努力を続けていらっしゃいます。

相談支援事業所

地域で生活する全ての方々を対象とした福祉に関する相談窓口として、総合相談、障がい者等相談支援事業を実施しています。

また、認知症や障がい等により、自分で判断することに支援を必要とする人が安心して生活できるよう「あんしんサポートねっと」、「法人後見事業」を実施しています。

どこにも相談できず、困っていること等がありましたら、お気軽にご相談ください。相談は専門職が対応し、秘密は厳守されますのでご安心ください。



▲一人ひとりの思いに寄り添い、その人らしい生活を送ることができるように支援しています。

▼権利擁護事業（あんしんサポートねっと、法人後見事業）の支援員会議では、認知症等により、自分で判断することが困難な方を支援するため法律や支援方法の勉強会を開催しています。



地域のために何かできることを考えた時に社会福祉協議会を知りました。

ボランティア活動をはじめ、福祉についてもっと知りたいと思い、研修を重ね権利擁護推進事業のお手伝いもさせていただいています。

社協は、私にとって地域福祉の入り口です。

生活支援員 鵜川 京子

地域包括支援センター(柏の杜、館・幸町)

柏町と館・幸町地区を担当し、地域の高齢者の在宅生活の支援を主任介護支援専門員、保健師または看護師、社会福祉士の専門職を配置し、チームで介護・医療・福祉などとの連携を図って総合的にサポートしています。



▲地域のイベントに出張し相談会を実施しています。



▲課題を解決するため医療や介護などの多職種で連携した支援体制を構築しています。

▶認知症を地域で支えるために認知症の人に対する声かけ模擬訓練を実施しています。



▲サロンおり〜ぶの事業「館・幸町の敷地内での家庭菜園」



「志木市と富士見市の両市の住民が参加できる場所があったらいいな」という住民の声から柏の杜とともに水谷東公民館ふれあいサロンで介護予防教室いろは百歳体操を始めることができました。

両市の住民にとってとても良い場所になりました。

水谷東ふれあいサロンいろは百歳体操
代表 小椋 安野



私たちボランティアグループは、地域包括支援センター館・幸町を会場として「サロンおり〜ぶ」を毎月第1、第3水曜日に開催しております。

社会福祉協議会の地域包括支援センターのために、何かお手伝いのできればとの思いから始めましたが、参加者の皆さんに大変喜んで参加していただき、ボランティアである自分たちの元気の源にもなっています。

これからも引き続き、互いに助け合う拠り所を大事にしていきたいと思ひます。

ボランティアグループ クローバー

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

組織図・役員等名簿

事業紹介

障がい者通所施設

「生活介護」ではアクリル毛糸を使った自主製品を作成しているほか、レクリエーションなどの余暇活動を通して、日中の生活の場所を提供しています。

「就労継続支援B型」では、請負作業や清掃業務、内職を中心に働く部門と、軽食喫茶の運営、菓子製造販売等を行う部門に分かれ、その人の能力に合わせた働く場所の提供、就労に向けた訓練を行っています。



▲自家製ひまわりクッキーは、自家製ひまわりクッキーは、町内会イベントのおみやげやお子様のおやつにお買い求めいただくなど、地域に広まりつつある人気商品です。



利用者の皆さんに教え始めて20年余りになりました。最初は大正琴をまったく知らなかったと思います。一人ひとりにあった教え方をし、個性も出せるような取り組みをしてきました。皆さん、音楽に接しているときは気持ちが穏やかになっているように思います。

これからも皆さんが新たに挑戦できる機会を多く作ってあげてください。

大正琴教室 講師 上田 泰子



社会福祉協議会の皆さんには長くお世話になり感謝申し上げます。これからも年齢性別問わず、地域の役に立ちたい方々と、援助を必要とする方々の橋渡しの場を提供していただくとともに、今後はさらに、援助を必要とする側の変化していくニーズに応えていきたいと思っています。

音楽療法士 藤田 由香

地域活動支援センター

障がいのある人が楽しみながら社会参加できるように、さまざまな教室事業を実施しています。

また、身体に障がいのある人を対象に身体機能改善のため、理学・作業療法士の指導のもと、機能回復訓練を実施しています。



▲生け花教室



▲機能回復訓練



社会福祉協議会とは、食生活改善推進員の活動を通して関わり、現在は、平成20年から依頼を受けた生け花教室の講師として、1か月に1度、障がいのある皆さんと花を生けながら会話を楽しむ場となっています。

そんな中、話が途切れ、一瞬静寂が訪れます。雑念を忘れ、真剣に花と向き合い集中する瞬間です。皆さんが、だんだん上手になるのが楽しみです。総合福祉センターまつりでの展示も華やかで、皆さん立ち止まって観てくれます。社会福祉協議会は数々の出会いの場でもあります。

生け花教室 講師 市之瀬 トシ子



昭和54年9月の社会福祉協議会創立以来、公私共にお世話になっております。平成8年には「男性の料理教室」の修了者有志で料理で地域福祉に貢献するために「おんどりクラブ」を発足させ、団体は現在も地域に貢献し続けております。

詩吟教室では、身体が不自由でも皆さんが大きな声を出すことで自分に自信が持てるようになり、笑顔が絶えない教室で、歌詞を覚える皆さんの記憶力にも感服しました。

現在は、社会福祉協議会の事業も以前と比べて膨大となりました。民間福祉団体として益々のご活躍を期待申し上げます。

詩吟教室 講師 福居 一夫

児童センター

0歳から18歳未満の児童と、その保護者が利用できる児童厚生施設です。
健全な遊びを通して、子どもの生活の安定と能力の発達を援助しています。



▲毎月開催している「ぬりえコンテスト」は大人気の行事です。



▲ドミノやボードゲームなど数多くの玩具を用意しています。



お世話になり始めたきっかけは、主宰するサークルに社会福祉協議会職員さんのご友人が参加していたことでした。

現在は、子ども料理教室をメインに活動しており、パンを焼いたり、クリスマスには鶏の丸焼きだったり、季節にあったお料理を作っています。想像力をはたらかせ、試行錯誤しながら作っているお子さんの姿を近くで見られて、私自身とても楽しんでます。

今後の展望は、簡単なお料理をお伝えし、家庭の味が次の世代につながることを目標として、共に考えていきたいと思います。

「クッキング」事業 講師 前田 純子



男の子2人の母です。私たち親子と児童センター・宗岡子育て支援センターのお付き合いは10年近くになります。こんなに長く通えるのもいつも温かく優しく見守り、話を聞いてくださる先生たちがいるからだと思います。

私自身のことや子どもたちに何かあったとき、必ず先生たちに相談や報告をしています。そんなことができるセンターと先生方に出会えて本当に幸せです。

私には必要な場所。これからも通わせていただきます。

児童センター・宗岡子育て支援センター
利用者 清水 美津枝

宗岡子育て支援センター

就学前のお子さんと保護者が気軽に集まり、交流できる場です。

子育て相談をはじめ、親子で一緒に楽しむ体験や事業などを実施し、子どもの健やかな成長を支援しています。



▲子育ての悩みが気軽に相談できるような雰囲気づくりを心がけています。



PaPa's(パパス)の活動は、当初は落ち葉焚きによる焼き芋からスタートし、現在はプランターでジャガイモ等を植え、子どもと収穫を楽しんでおります。その他の活動で型抜きを使ってカレーを作ったり、イベントで集まった際にはダンスをしたり、普段とは異なるパパの姿を見せられる場にもなります。時にはパパ仲間が集まり情報交換し、子育てに活かしています。興味がある方は、宗岡子育て支援センターに連絡をしていただければと思います。

PaPa's(お父さんの会) 中村 希志



2011年4月から毎月第4木曜日に絵本とわらべうたを、宗岡子育て支援センター利用者の皆さんに届けています。真剣に絵本を見て様子や楽しそうにわらべうたで遊ぶ姿を見ると、こちらまで楽しくなります。

子育て支援センターに来所した帰りに図書室で本を借りて、お家でお父さん、お母さんの声でわらべうたを読んで楽しんでいただきたいです。わらべうたも、顔と顔、目と目を合わせて親子で楽しんでいただければ幸いです。

読み聞かせボランティア 金子 洋子

挨拶

祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

組織図・役員等名簿

事業紹介

学童保育クラブ・放課後志木っ子タイム

学童保育クラブは、保護者が就労などにより昼間家庭にいない1年生から6年生の児童に対し、家庭に代わる居場所として遊びや生活を支援し、子どもたちの安心・安全と健やかな成長のための事業を実施しています。

放課後志木っ子タイムは、宗岡第四小学校の児童を対象とした一体型の学童保育クラブ及び放課後子ども教室を運営し、遊びや文化・スポーツなどの体験活動、地域との交流活動など、安心・安全な子どもたちのための楽しい放課後を提供しています。



▲地域のサークルやボランティア団体など多くの支えがあって放課後志木っ子タイムは運営されています。



▲市内の各種イベントにも参加し、児童に多くの経験を積んでもらうよう関わっています。



学童保育クラブ支援員アドバイザーとして約4年半になります。

支援員の先生方と勉強会を積み重ねる中、一人ひとりが支援員として確実に意識が変わりました。知識や技術等を吸収しようとする目の輝きに保育のプロとしての意識と成長を感じます。

これからも保育の質を高めること、また、人として育つ支援員を目指し、一緒に勉強会を作りあげていきましょう。

学童保育支援員アドバイザー

中西 喜代子



私が仕事をしながら安心して3人の子育てができるのは、学童があるからこそです。先生方は子どもたちの良い面を見つけてくださり、いつも温かく一生懸命に接していただき感謝しております。

今年度から「放課後志木っ子タイム」として形が変わり、より多くの子どもたちが利用するようになりました。今後とも子どもたちの笑顔のためにどうぞよろしく願っています。

保護者 鎌田 美希

しき社協だよりの発行

社協事業を中心とした身近な地域福祉の情報を発信するため、年6回（奇数月）発行し、広報しきの折り込みで全戸配布しています。



▲平成30年1月に「ふれあい」から「しき社協だよりに」改称しました。広報編集会議を開催し、「市民の目線」を取り入れた広報づくりを心掛けています。



社会福祉協議会から連絡をいただいたのは、平成10年4月で広報編集委員をお願いしたいというお話でした。

当時の「社協だよりに」はB5判でした。表紙には前月の行事の集合写真を使った報告記事が多かったと思います。間もなく誌名が一般公募で「ふれあい」に変わりました。紙面もA4判にしてレイアウトもソフトに。加えて格調高い委員長長の俳句、美を求めて止まない副委員長長の写真も見事でした。

先人の夢醒め、今年から「社協だよりに」。

広報編集委員 横内 洋

ご挨拶

ご祝辞

表彰・感謝

40年の活動の歩み

事業紹介
組織図・役員等名簿

発刊日 平成31年2月
編集発行 社会福祉法人 志木市社会福祉協議会
志木市上宗岡1-5-1(志木市総合福祉センター内)
電話 048-485-1177
F A X 048-475-0014
メール houjin@shiki-syakyō.or.jp



社会福祉法人 志木市社会福祉協議会